

介護に関する講演会シリーズ 第5回

がんと共に生きる人を支える

—緩和ケアをどう活用するか—

日時 2014年6月26日(木)

【講演会】13:30 ~ 14:50

【交流会】15:00 ~ 16:00 ※13:00 受付開始

場所 京都大学杉浦地域医療研究センターホール

参加費 無料

対象者 京都大学に所属する学生・教職員、その家族、一般の方

定員 100名 (先着順、うち一般の方は40名まで)

申込 予約制

京都大学男女共同参画推進センター(<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>)の
介護講演会申込入力フォームより、お申し込みください。



がん看護専門看護師
田村恵子

講師プロフィール

1987年に淀川キリスト教病院に就職し、ホスピス、がん相談支援室を経て、2014年1月より京都大学医学研究科人間健康科学系専攻教授。2008年にホスピスでがん患者を最後まで看取り、家族の看護にも取り組む姿がNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で放映され、反響を呼ぶ。2012年3月にはTBS系列放送「奇跡のホスピス～人生の“わすれもの”ってなんですか?～」の主人公・田辺礼子のモデルとなる。著書に『余命18日をどう生きるか』(朝日新聞出版)などがある。

がん医療の著しい進歩に伴って、がんは「死に至る病」から「慢性的経過をたどる疾患」へと変化を遂げています。『がん対策基本法』に基づく「がん対策推進基本計画」において、「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」が重点事項となり、がん治療と並行して、身体的苦痛のみならず、心理的、社会的、そしてスピリチュアルな痛みを積極的に和らげて支えてゆく緩和ケアの重要性が示されています。がん看護専門看護師としての経験を踏まえて、どのように患者さんやご家族を支援しているのかについて紹介いたします。



※駐車場はございません。当日は公共交通機関をご利用ください。

問合せ先

京都大学男女共同参画推進センター

2014年4月1日から女性研究者支援センターは、組織改組により男女共同参画推進センターになりました

Tel : 075-753-2437

E-mail : w-shien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

URL : <http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

主催 京都大学男女共同参画推進センター